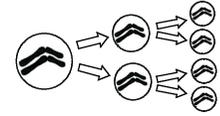
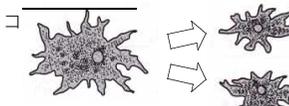
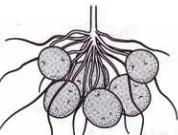
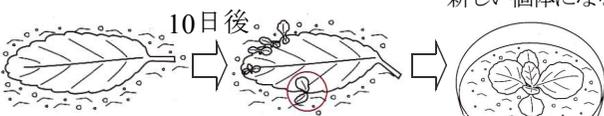


ア …生物が、自分と同じ種類の新しい個体(子)をつくってふえること。

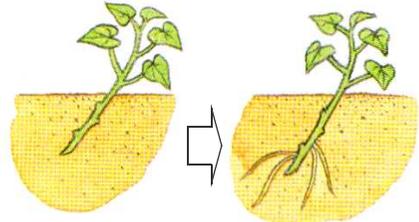
①

イ … によってなかまをふやす方法。 特に植物のイ を という。

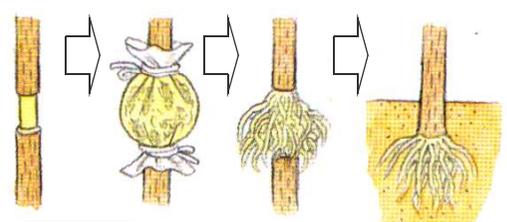
オ …異なる2種類の によって、新しい個体をつくる方法。
 ア → 植物… 動物…

体が2つに分裂し新しい個体になるもの(<input type="text"/>)。 <small>ケ</small>		コ・ <input type="text"/> (動物) サ・ <input type="text"/> (植物) シ・ <input type="text"/> (動物)
体の一部から芽が出てふくらみ新しい個体になるもの(<input type="text"/>) <small>ス</small> 植物以外に使う言葉	新しい個体になる部分 	セ・ <input type="text"/> (動物) ソ・ <input type="text"/> (菌類)
いずれも生物の体の一部が体細胞分裂をして新しい個体のもとをつくる		
植物の体の一部から新しい個体ができるのも(<input type="text"/>) <small>タ</small> 植物の場合に使う言葉		ジャガイモ→ <input type="text"/> でふえる サツマイモ→ <input type="text"/> でふえる オニユリ→ <input type="text"/> でふえる オランダイチゴ→ <input type="text"/> の一部 チューリップ→ <input type="text"/> でふえる セイロンベンケイ→ <input type="text"/> の一部
(セイロンベンケイの観察) 10日後  セイロンベンケイの葉をしめった土の上に置く 葉から新しい芽がたくさん出てきた 新しい芽をとって別に育てると根・茎・葉のあるセイロンゲンケイに成長した		これらは成長すると花が咲き受粉して種子をつくり増える <input type="text"/> もできる! 又

は ・ などの方法を使っても利用されている。



ヒ は、葉のついた茎などを切りとって地中にさして育て、新しい個体を得る方法。



フ は、枝に傷をつけるなどして発根させたあと、切りとって新しい個体とする方法。